



特集

# にぎわいと活力あるまちを目指して

## あやの台北部用地開発事業の進捗をお知らせします

橋本市では、平成17年から本格的に企業誘致の取組みを始め、市外からの新規立地だけでなく、地元企業の増設を支援し、市外への人口流出を防止しながら雇用の維持拡大を図っています。

京奈和自動車道の延伸や内陸部に位置するといった立地条件により、既存工業団地である紀北橋本エコーヒルズは既に完売となっています。

令和4年7月現在、本市への誘致企業・立地企業は49社となり、そのうち41社が操業を開始しています。

進出企業で働く従業員数は、1,364人で、そのうち約6割が地元雇用となっています。企業の進出により、市内に雇用の場が増え、これまで市外へ流出していた若者が地元で就職できるようになり、「職場」と「住居」が近接するまちづくりが進んでいます。

### 企業誘致の取組み

橋本市では、活力ある産業を育成し、若者が地元で就労し定住できるまちづくりを目指すとともに、雇用の場の創出を図るため、平成17年度から、和歌山県などと連携を図り企業誘致活動を積極的に行なっています。

今回は、南海電気鉄道株式会社（以下、南海電鉄）・和歌山県・橋本市の三者で本市の北東部に位置する隅田町山内、平野、真土で取り組んでいる新たな工業団地「あやの台北部用地開発事業（第1次事業）」の工事の進捗や企業進出による本市への効果についてお知らせします。

### 【企業誘致室】

## 橋本市の企業誘致

そのほか、平成17年度から令和2年度までの累計収支（税収から奨励金などを差し引いた企業誘致に関する決算額）は、約1億9,700万円の黒字となっており、雇用の創出や収支で効果が表れています。

### あやの台北部用地開発事業が開始

市では、企業誘致による効果で、さらなるにぎわいと活力を創出するため、平成25年3月に南海電鉄・和歌山県・橋本市の三者で工業団地造成に向けた基本協定を締結しました。

その後、平成28年2月に事業費の負担率などを定めた細目協定を締結し、造成事業を開始しています。次のページでは、造成工事の進捗状況や今後の見通しなどについてお知らせします。

今月号に掲載の催しなどは新型コロナウイルス感染症の影響により中止または延期となる場合があります。催しの詳細は、市ホームページなどをご確認ください。

今月のかけ橋人

# 地域の安全 × 橋本人



橋本市地域安全推進委員会 副会長

堀川 憲一さん（小原田）

平成19年から地域安全推進員を続けています。この会は「地域の安全は地域で守る」「安全で住みよい地域社会を実現する」ことを目的としたもので、現在は115人の推進員が各地域で活動しています。

警察から認定された青色回転灯装着車に乗って12年間にわたり防犯啓発パトロールをしています。この活動をするのが自分にとって生きがいのように感じています。

今後も住み慣れた地域が安全で安心して暮らせる場所であるよう、精一杯頑張っていこうと思っています。

## 目次

- 3 特集  
あやの台北部用地の進捗状況
- 6 特集  
地域の防災力を高めよう
- 8 特集  
きらり vol.62
- 12 情報ワイド  
▶スマホデビュー支援教室  
▶まっせ・はしもと出店募集  
▶マイナポイント第2弾  
▶こども食堂の紹介 など
- 17 情報ひろば
- 24 タウン情報
- 25 子育てぱーく
- 26 本のひろば
- 27 健康カレンダー
- 28 フォトトピックス

### 今月の表紙



あやの台北部用地において進めている企業誘致用地の造成工事の様子。